

『心理学検定 基本キーワード [第 3 版]』訂正表 (第 3 版第 1 刷用)

●第 3 版第 2 刷で訂正済み

・ p. 90-91 28-1 行目

最初に発達段階を提唱したのは、**ハヴィガースト** (Havighurst, R. J.) だといわれ、…課題を提唱した。
→**ハヴィガースト** (Havighurst, R. J.) は、この発達段階を、生まれてから死ぬまでの 6 段階 (乳幼児期、児童期、青年期、壮年期、中年期、老年期) に区切り、それぞれの段階で達成することが求められている課題 (**発達課題**) について提唱した。

・ p. 98 26-27 行目

他者の援助下で達成できる水準のことを発達の最近接領域と呼ぶ。この他者の援助とは、…
→この 2 つの水準間の範囲 (差) を、発達の最近接領域と呼んだ。他者の援助とは、…

・ p. 143 19-20 行目

これを**根本的な帰属のエラー** (fundermental attribution error) と呼ぶ。
→これを**根本的な帰属のエラー** (fundamental attribution error) と呼ぶ。

・ p. 198 1 行目

心理検査とは、クライアントの訴える症状の背景にある…
→**心理検査**とは、クライアントの訴える問題の背景にある…

・ p. 200 9-13 行目

ビネー式知能検査は**ビネー** (Binet, A.) によって考案され、…測定している。その後、**ターマン** (Terman, L. M.) が**知能指数** (intelligence quotient; IQ) の概念を…
→ビネー式知能検査は**ビネー** (Binet, A.) と**シモン** (Simon, T.) によって考案され、被検者が一般知能を測るとされる問題を回答することで、どの年齢段階の問題まで回答できたかによる精神年齢 (MA) が算出された。その後、**シュテルン** (Stern, W.) が実際の生活年齢 (CA) と対比させて**知能指数** (intelligence quotient; IQ) の概念を提唱した。さらにアメリカでは**ターマン** (Terman, L. M.) が知能指数の概念を…

・ p. 211 右欄外 軽度認知障害 (MCI)

アルツハイマー認知症治療薬 (レカネマブ) の使用開始時期。
→アルツハイマー認知症治療薬 (レカネマブ等) 使用開始時期。

・ p. 215 右欄外 自助グループ

(AA : Alcoholic Anonymous)
→ (AA : Alcoholics Anonymous)

・ p. 222 3-4 行目

…神経細胞の 50 倍、もしくは 100 倍以上も存在すると考えられている**グリア細胞**から構成されている。
→…ほぼ同数の**グリア細胞**から構成されている。
(従来、グリア細胞は神経細胞の 10~100 倍存在するとされる記述が多く見られたが、近年の研究では、ヒトの脳におけるグリア細胞の数は神経細胞とほぼ同数であることが示されている。ウェブ上にも旧来の記述が多数残っていることから、読者に混乱を与える可能性があるため、該当箇所を最新の知見に基づいて訂正しました。)

・ p. 223 4-5 行目

左半球側頭葉には発話処理にかかわる**ブローカ野**と、言語理解にかかわる**ウェルニッケ野**が存在しており、…
→左半球前頭葉には発話処理にかかわる**ブローカ野**が、左半球側頭葉には言語理解にかかわる**ウェルニッケ野**が存在しており、…

・ p. 223 24-25 行目

中脳、橋、延髄（定義によっては間脳も含めた領域）は合わせて**脳幹**とも呼ばれ、…
→中脳、橋、延髄は合わせて**脳幹**とも呼ばれ、…

・ p. 230 右欄外 ウェルニッケ野

ブローカ野を損傷すると、言語の理解が困難になり、…
→ウェルニッケ野を損傷すると、言語の理解が困難になり、…

・ p. 231 2-4 行目

神経細胞とグリア細胞の比率は1:9程度とされるが、グリア細胞の数がこれよりはるかに多いという説もある。
→従来、グリア細胞の数は神経細胞の10～100倍ともいわれていたが、最新の研究では同程度であるとされる。

・ p. 330 表 9.4 段階4の禁煙の様子

禁煙開始し、期間が6か月以内
→禁煙開始し、期間が6か月未満

・ p. 347 5-10 行目

…知的障害、精神病質その他の精神疾患を有する者をいう」とある。…この手帳の対象となる精神疾患は、現在、統合失調症、うつ病、てんかん、薬物などによる中毒またはその依存症、高次脳機能障害、発達障害などがある。
→…知的障害その他の精神疾患を有する者をいう」とある。…この手帳の対象には、現在、統合失調症、気分（感情）障害、てんかん、物質使用症、高次脳機能障害、発達障害、その他（ストレス関連症群など）がある。

・ p. 353 12-16 行目

…日常生活の指導、知識技能の付与があり、障害種別によって加わる。
障害児通所支援の中の**児童発達支援**とは、通所する障害児に、日常生活における基本的動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行う支援である。この支援に加えて…
→…日常生活における基本的な動作および独立自活に必要な知識技能の習得のための支援、そして障害種別によって治療が加わる。
障害児通所支援の中の**児童発達支援**とは、障害児に対する日常生活における基本的な動作および知識技能の習得ならびに集団生活への適応のための支援である。さらに、…

・ p. 353 22 行目

…障害児の療育や発達支援の専門職などが…
→…障害児への発達支援の専門職などが…

・ p. 354 11 行目、右欄外 社会的養護

…厚生労働省…

→…こども家庭庁…

・ p. 354 右欄外 児童相談所運営指針

「厚生労働省による」を削除

・ p. 354 22-23 行目

…障害児入所施設と児童発達支援センター（それぞれ現在、福祉型と医療型がある）…

→…障害児入所施設（福祉型と医療型がある）と児童発達支援センター…

・ p. 356 第9章 引用・参考文献

厚生労働省の児童相談所運営指針の URL をこども家庭庁ウェブサイト内の資料に変更（URL 省略）

・ p. 358 ・ 360 ・ 373 ・ 380 ・ 383 ・ 384 ・ 387 ・ 390

本文の全体的な記述、統計データおよび『犯罪白書』を出典とした図等を最新の内容に更新しました（第1刷の内容も、学習上の大きな支障はありません）。

以上

株式会社 実務教育出版